



平成 19 年 11 月 26 日

各 位

横浜市西区みなとみらい 2 丁目 2 番 1 号
株式会社 システムプロ
代表取締役社長 逸 見 愛 親
(コード番号：2317 東証第一部)
問い合わせ先 取締役管理本部長 国分 靖 哲
電話番号 045 (640) 1401 (代)
U R L <http://www.systempro.co.jp>

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 19 年 5 月 22 日に公表いたしました平成 19 年 10 月期（平成 18 年 11 月 1 日～平成 19 年 10 月 31 日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 19 年 10 月期（通期）の業績予想の修正

(1) 個別（平成 18 年 11 月 1 日～平成 19 年 10 月 31 日）

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 19 年 5 月 22 日発表)	7,103	1,301	1,341	748
今回修正予想 (B)	6,958	1,370	1,405	808
増減額 (B-A)	△144	69	64	60
増減率 (%)	△2.0	5.3	4.8	8.0
(ご参考) 前期実績 (平成 18 年 10 月期)	5,239	916	929	527

(参考) 1 株当たり予想当期純利益 (通期) 3,497 円 83 銭

(2) 連結（平成 18 年 11 月 1 日～平成 19 年 10 月 31 日）

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 19 年 5 月 22 日発表)	8,050	1,472	1,450	780
今回修正予想 (B)	7,930	1,595	1,555	849
増減額 (B-A)	△120	123	105	69
増減率 (%)	△1.5	8.3	7.2	8.8
(ご参考) 前期実績 (平成 18 年 10 月期)	5,917	961	967	602

(参考) 1 株当たり予想当期純利益 (通期) 3,675 円 32 銭

※上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

2. 修正の理由

(1) 通期個別業績予想の修正理由

モバイル・ネットワーク事業において、当社の得意とする品質検証業務の受注状況は引き続き旺盛であり、ネットワーク・ソリューション事業においては、より収益性の高いエンドユーザーからの一括請負案件の受注比率が上昇するなか、これら事業において、更なる生産性向上と業務の効率化に取り組んだ結果、収益性が向上いたしました。また、販売管理部門においては、作業効率を向上させるとともに、コスト削減にも注力いたしました。

以上のとおり、付加価値の高い高収益業務を優先して受注を行った結果、売上高は前回予想を若干下回る見込みであります。営業利益、経常利益および当期純利益はそれぞれ前回予想を上回る見通しとなりました。

(2) 通期連結業績予想の修正理由

連結子会社の株式会社フラグシップおよび株式会社 ProVision において、生産性の向上、業務効率の向上に取り組んだ結果、予想より収益が向上いたしました。特に、株式会社 ProVision においては、好調な採用状況のもと、品質検証業務が順調に推移した結果、予想以上に収益が向上いたしました。

また、持分法適用関連会社においては、株式会社トラスティッド・ポイント（旧社名：株式会社リエクリプション・テクノロジーズ）ならびに株式会社ジークレストの収益が予想より減少いたしました。カテナ株式会社および北洋情報システム株式会社については、生産性向上への取り組みを強化し、採用活動も順調に推移したことから、収益は予想を上回りました。

これらの結果、売上高は、前回予想を若干下回る見込みであります。営業利益、経常利益、および当期純利益はそれぞれ前回予想を上回る見通しとなりました。

以上

※上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。